

平成 27 年度より、日本赤十字社診療放射線技師会広報部を前任の武蔵野赤十字病院荒井理事より引き継ぐことになりました。

今回の電子会誌編集にあたり、初めてのことで戸惑うことばかりでした・・・。「会ったこともない所属長あてに突然依頼状を送って快諾してくれるのか?」、「原稿依頼の依頼文に失礼は無いかな、言い回しが変わらないか?」、「メールでのやり取りに失礼、不備は無いかな・・・。」、「メールをもらったから、当日に返信しなければダメなのか・・・。」、「原稿依頼を断られたらどうするの?」「そもそもパソコン苦手なんですけど・・・」等々挙げたらきりがなくらい不安だらけの編集作業でしたが、無事に平成 27 年度電子会誌第 7 号を発刊することが出来ました。

この紙面をお借りして、電子会誌第 7 号を発刊にあたり、会誌原稿を寄稿して頂きました会員の皆様、各メーカー担当者の方々、サポートして頂いた理事会の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、今回の電子会誌は「被ばく低減」をテーマに、各メーカーから被ばく低減について最新技術の紹介、医療被ばく低減施設認定を受けている小川赤十字病院から施設認定までのプロセス、被ばく低減の工夫として、専門部（CT 部会）より大阪赤十字病院、和歌山医療センター、成田赤十字病院の方々に御執筆いただきました。会員皆様の参考にしていただければ幸いです。また、今回より施設紹介のなかに、スタッフ紹介を加えていただきました。現在、日本赤十字社放射線技師会の活動はホームページが主体になっています。この活動をより活発にしていくには、全国の会員と顔の見える交流が必要ではないかと考え、原稿を執筆していただいた 3 施設の方々にご協力していただきました。皆様のご意見をお聞かせください。

電子会誌は第 8 号、9 号・・・と今後も続いて行きます。日本赤十字社診療放射線技師会の活動記録だけではなく、会員の皆様にとって有益な情報を掲載していけたらと思っています。ちなみに、次号のテーマは「線量管理・被ばく管理」を予定しております。

会員の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成 28 年 4 月 日本赤十字社診療放射線技師会 広報部  
成田赤十字病院 大竹 覚